



ほむる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!)◆
 ~あなたの悩み事は当社までご相談下さい~
 【今月の一冊】AI分析でわかったトップ5%リーダーの習慣
 越川 慎司 著 ディスカヴァー・トゥエンティワン
 ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2021年11月1日 Vol. 229
 発行元 有限会社プライム・コーポレーション
 代表取締役 渡邊 敏徳
 〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
 TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

大廃業時代

先月、4年ぶりとなった第49回衆議院議員選挙が行われました。前回(17年)、前々回(14年)と比べて上昇してはいるものの、投票率は55.39%で戦後3番目に低い投票率となりました。都道府県別に見ると、最も投票率が高かったのは山形県の64.34%で最も低かったのは総理大臣を何人も輩出している山口県の49.67%でした。

若年層が“政治に無関心”とよく言われますが、その一言だけで片づけるのは無理があるように感じます。若年層の意見を代弁する人たちが立候補していないことも大きな課題だと思いました。

とりわけ若年層の投票を促すために、ネット投票を望む声や意見が相次いでいますが、今後の高齢者増加や平均寿命が長くなっていくことなどを考えれば、高齢者の投票環境を整えるうえでもネットを通じた投票環境の整備を図っていくことが急務だと感じます。コロナ禍の中で経済が大きな影響を受けてきましたが、今回の衆議院議員選挙は何を問う選挙だったのでしょうか。今ひとつピンときませんでした。

というのも中小企業庁の予測では、2025年には全企業の3分の1の127万社が廃業を迎えようとしています。NHKでも『大廃業時代』の特集が組まれました。

その廃業する企業の中の49.1%は『黒字企業』だということです。どうして『黒字』で廃業してしまうのでしょうか?一番には後継者不足だと言われています。これからの時代を支えていく企業が廃業していくことは大きなマイナスとなってしまいます。

その他の廃業と考えればやはり倒産です。2019年の東京商工リサーチの調査(負債1,000万円以上の企業を対象)によりますと、負債総額は1兆3232億円で、倒産件数は8,383件。一件平均の負債額は1億6977万円になります。コロナウイルス以前の状況ですのでさらに厳しくなっていくと予想されます。



コロナが収束していく中で、経済が復調していくことを期待しますが、少子高齢化、人口減少、働き手不足、年金問題など特に地方の状況は厳しさを増すばかり…。選挙において耳ざわりのいいバラマキ合戦の給付金のお話を出すのはいいが、私たちの未来に“大増税”が待っているような気がしてなりません。

平成の怪物

2021年10月19日“平成の怪物”埼玉西武ライオンズの背番号18をつけて、松坂大輔41歳が北海道日本ハムファイターズとの公式戦に先発し最後のマウンドに立ちました。日本での登板は219試合、日米通算では377試合の登板となりました。通産成績は170勝108敗。155km/hのストレートで三振を奪う姿にワクワクした姿が思い出されますが、横浜高校の後輩・近藤健介選手に対して力を尽くした5球を投げ、四球を与えて静かにマウンドを降りました。この日の最速は118km/hでとても痛々しく胸が熱くなりました。

『松坂世代』という言葉もよく耳にしましたが、松坂大輔と同学年に生まれた世代の日本のプロ野球選手のことを総称して呼ばれる華やかな世代でした。

14年ぶりに西武に復帰した昨年、首の痛みと右手のしびれに襲われ、7月に脊椎内視鏡手術を受けたが明確な症状の改善が見られなかった。引退登板を前にした会見で、“諦めの悪さの原点”について「全てがそういうわけではないが、諦めなければ最後は報われる。23年前、灼熱の甲子園で延長17回、250球をたった一人で投げ切り再三のPLの粘りを振り切って勝利した」。

41歳までスポーツ選手としてやれたことは、とても幸せな事だと思います。きれいでスマートな生き方もいいですが、泥臭く諦めの悪さでもがき続ける生き方もまた素敵だと感じました。



【座右の銘にしたい名言】



この世に「雑用」という用はありません。私たちが用を雑にした時に、雑用が生まれます。(渡辺和子/ノートルダム清心学園理事長)